



2021年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月13日

上場会社名 Sansan株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4443 URL http://jp.corp-sansan.com
 代表者 (役職名) 代表取締役/CEO (氏名) 寺田 親弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役/CF0 (氏名) 橋本 宗之 TEL 03 (6758) 0033
 四半期報告書提出予定日 2020年10月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第1四半期の連結業績（2020年6月1日～2020年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第1四半期	3,667	18.3	193	△22.1	101	△47.4	85	△19.6
2020年5月期第1四半期	3,100	—	248	—	192	—	106	—

(注) 包括利益 2021年5月期第1四半期 89百万円 (△10.5%) 2020年5月期第1四半期 100百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第1四半期	2.75	2.72
2020年5月期第1四半期	3.50	3.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第1四半期	22,554	10,668	47.1
2020年5月期	22,819	10,552	46.2

(参考) 自己資本 2021年5月期第1四半期 10,631百万円 2020年5月期 10,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年5月期	—	—	—	—	—
2021年5月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年5月期の連結業績予想（2020年6月1日～2021年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,767 ～16,302	18.0 ～22.0	757 ～1,010	0.0 ～33.4	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の黒字の計上についても見込んでいますが、現時点では精緻化が困難であることから、具体的な予想数値の開示は行っていません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年5月期1Q	31,138,853株	2020年5月期	31,138,853株
② 期末自己株式数	2021年5月期1Q	一株	2020年5月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年5月期1Q	31,138,853株	2020年5月期1Q	30,397,777株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「出会いからイノベーションを生み出す」というミッションを掲げ、「クラウドソフトウェア」に「テクノロジーと人力による名刺データ化の仕組み」を組み合わせた新しい手法を軸に、企業やビジネスパーソンの抱えるさまざまな課題の解決につながるサービスを展開しています。

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響によって緊急事態宣言が発出されていた2020年4月や5月に比べると、緩やかな回復傾向がみられたものの、引き続き不透明な事業環境が継続しました。このような環境の下、継続的な売上高の成長の実現に向け、人材採用をはじめとした営業体制の強化に取り組みました。また、クラウド名刺管理サービス「Sansan」と名刺アプリ「Eight」上で利用できる「オンライン名刺」機能の利用拡大に取り組みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,667,253千円（前年同期比18.3%増）、売上総利益は3,229,644千円（前年同期比22.5%増）、売上総利益率は88.1%（前年同期比3.1ポイント増）となりました。一方、営業損益以下は減益となりました。これは、新機能「オンライン名刺」の利用促進を目的に、新たなテレビCMの展開を当第1四半期連結累計期間から実施したことに伴い、広告宣伝費が前年同期比338,202千円増加したことに加え、採用強化によって人件費が229,966千円増加したことによるものです。営業利益は193,918千円（前年同期比22.1%減）、経常利益は101,388千円（前年同期比47.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は85,545千円（前年同期比19.6%減）となりました。

新たなサービス展開として、「Sansan」や「Eight」で培った正確な名刺データ化技術を名刺以外の分野に活用した新規サービス、請求書のデータ化・オンライン受領サービス「Bill One」等の立ち上げに取り組みました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止等を目的に、企業はリモートワークといった働き方の多様化や生産性の向上等が求められている中、請求書関連業務等に関しては、紙媒体を受領・処理するために出社が強いられる等、大きな課題が残されていると考えています。したがって、本サービスは、リモートワークやBCP（事業継続計画）といった課題解決に貢献するサービスであると捉えており、まずは業務プロセスを確立し、安定的なサービス提供に向けた取り組みを推進していきます。

また、2020年8月31日にログミー株式会社（以下、「ログミー社」）の株式を取得し、子会社化しました。当社グループがこれまで培ってきたクライアント基盤やユーザー基盤の活用、営業ノウハウ、データ活用ノウハウ等の導入やクロスセルの実施等によって、ログミー社業績のさらなる拡大を図るほか、イベント関連事業及び広告関連事業における連携商品の開発、ログミー社の記事データベースの価値向上に向けた取り組み等の実施により、両社サービス価値のさらなる向上等に取り組みます。なお、ログミー社業績の当社連結業績への寄与は、当期の第2四半期連結会計期間（2020年9月）からとなる見込みです。

セグメント別の業績は以下の通りです。

なお、当社IRサイトに各事業のサービス内容、ビジネスモデル等を掲載しています。詳しくは以下URLをご参照ください。

IRサイト（事業内容）：<https://ir.corp-sansan.com/ja/ir/management/businessinformation.html>

①Sansan事業

当社は法人向け名刺管理サービス市場においてサービスを展開しており、同市場は、当社の成長等につれて2010年から2018年にかけて18倍に拡大しています。同市場において、当社が展開する「Sansan」は82.8%の市場シェア（注1）を占めていますが、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大によるリモートワーク等の働き方の変化やデジタルトランスフォーメーションへの意識改革、SaaSビジネスへの関心の高まり等によって、市場規模はさらなる拡大が続いています。また、デジタルトランスフォーメーション市場は2021年において1兆4,357億円（2017年比8,704億円増）（注2）、国内SaaS市場は2023年には8,174億円（2018年比3,376億円増）（注3）の規模に達すると予想されています。

当第1四半期連結累計期間においては、「Sansan」における契約件数及び契約当たり月次売上高のさらなる拡大に向け、人材採用をはじめとした営業体制の強化のほか、「オンライン名刺」機能の利用拡大に取り組みました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により新規契約獲得のペースは鈍化しているものの、行政機関や金融機関等のサービス利用が拡大し、中小企業の新規契約獲得が進んだ結果、当第1四半期連結会計期間末における「Sansan」の契約件数は前年同期末比15.5%増の6,969件となりました。また、契約当たり月次売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、「Sansan」の初期導入時に提供するサービス料金等で構成される一部の売上高が低調に推移したこと等から、前年同期比5.1%増の164千円に留まりました。加えて、強固な顧客基盤の実現に向け、既存顧客の利

用拡大に対する継続的な取り組みを行った結果、直近12か月平均の月次解約率（注4）は前年同期比0.04ポイント減の0.60%に改善しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,356,228千円（前年同期比17.8%増）、うち「Sansan」における固定収入であるストック売上高は3,199,764千円（前年同期比26.1%増）となりました。セグメント利益は1,272,216千円（前年同期比0.6%増）となりました。

- (注) 1. シード・プランニング「名刺管理サービスの市場とSFA/CRM関連ビジネス2020」
2. 富士キメラ総研「2018 デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望」
3. 富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2019年版」
4. 「Sansan」の既存契約の月額課金額に占める、解約に伴い減少した月額課金額の割合

②Eight事業

Eight事業では、プロフィール管理や名刺管理機能が無料で使用できるアプリをベースとし、一部利用機能を拡充したBtoCサービス「Eightプレミアム」と「Eight」における名刺共有を企業内で可能にするサービス「Eight 企業向けプレミアム」や「Eight」のユーザーに対して広告配信ができるサービス「Eight Ads」、買い手と売り手を効率的にマッチングさせ、生産性を上げるビジネスイベント「Meets」、転職潜在層のユーザーにアプローチ可能な採用関連サービス「Eight Career Design」等のBtoBサービスを提供しています。

当第1四半期連結累計期間においては、「Eight 企業向けプレミアム」等のBtoBサービスのマネタイズ強化に取り組んだほか、「Sansan」と「オンライン名刺」機能を連携し、相互のユーザー間でのスムーズな「オンライン名刺」交換を実現する新機能の開発に取り組みました。この結果、当第1四半期連結会計期間末における「Eight 企業向けプレミアム」の契約件数は前年同期末比77.3%増の1,757件、「Eight」ユーザー数（注5）は前年同期末比25万人増の276万人と順調に伸長しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は311,024千円（前年同期比23.5%増）、うちBtoCサービス売上高は74,444千円（前年同期比3.2%増）、BtoBサービス売上高は236,580千円（前年同期比31.7%増）となりました。セグメント損益については、現在は将来の収益化に向けた先行的な投資を行っているフェーズであることから、セグメント損失191,715千円（前年同期はセグメント損失239,146千円）を計上しました。

- (注) 5. アプリをダウンロード後、自身の名刺をプロフィールに登録した認証ユーザー数

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産額は22,554,217千円となり、前連結会計年度末に比べて265,550千円減少しました。これは主に現金及び預金の547,344千円減少及び売掛金の132,803千円減少、ログミー株式会社の株式を取得し、連結子会社化したことにより生じたのれんの200,715千円増加によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は11,885,607千円となり、前連結会計年度末に比べ381,539千円減少しました。これは主に未払金の324,046千円増加、運転資金の借り入れによる短期借入金の135,903千円増加及び顧客企業から契約期間分の料金を一括で受領すること等により前受金の441,022千円増加、借入金返済による長期借入金の507,265千円減少、1年内返済予定の長期借入金の135,130千円減少、及び納税による未払法人税等の175,554千円減少、未払消費税等の259,970千円減少によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産額は10,668,610千円となり、前連結会計年度末に比べ115,989千円増加しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金が85,545千円増加したこと及び新株予約権が21,879千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月期の連結業績予想については、2020年7月14日に公表した内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,815,225	12,267,881
売掛金	441,060	308,256
前払費用	410,582	465,994
その他	176,945	163,644
貸倒引当金	△3,621	△3,777
流動資産合計	13,840,192	13,201,998
固定資産		
有形固定資産	414,467	529,659
無形固定資産		
ソフトウェア	925,803	960,037
のれん	—	200,715
その他	261	229
無形固定資産合計	926,064	1,160,982
投資その他の資産		
投資有価証券	6,941,596	6,939,848
敷金	549,412	545,096
繰延税金資産	145,185	168,075
その他	2,850	8,556
投資その他の資産合計	7,639,043	7,661,576
固定資産合計	8,979,576	9,352,218
資産合計	22,819,768	22,554,217

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	102,922	61,422
短期借入金	20,000	155,903
1年内返済予定の長期借入金	1,267,490	1,132,360
未払金	596,265	920,311
未払法人税等	225,471	49,917
未払消費税等	429,584	169,613
前受金	5,289,822	5,730,844
賞与引当金	289,551	157,475
その他	114,449	79,943
流動負債合計	8,335,558	8,457,792
固定負債		
長期借入金	3,892,598	3,385,333
その他	38,990	42,481
固定負債合計	3,931,588	3,427,814
負債合計	12,267,147	11,885,607
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,236,650	6,236,650
資本剰余金	3,977,043	3,977,043
利益剰余金	344,184	429,730
株主資本合計	10,557,879	10,643,424
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△15,921	△11,906
その他の包括利益累計額合計	△15,921	△11,906
新株予約権	10,663	32,542
非支配株主持分	—	4,549
純資産合計	10,552,621	10,668,610
負債純資産合計	22,819,768	22,554,217

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
売上高	3,100,589	3,667,253
売上原価	464,143	437,609
売上総利益	2,636,446	3,229,644
販売費及び一般管理費	2,387,520	3,035,726
営業利益	248,926	193,918
営業外収益		
受取利息及び配当金	592	350
為替差益	568	185
解約違約金収入	476	1,914
助成金収入	—	1,191
その他	455	157
営業外収益合計	2,093	3,799
営業外費用		
支払利息	1,161	7,910
株式交付費	28,102	—
株式上場費用	13,877	—
支払手数料	—	2,646
持分法による投資損失	13,592	84,650
その他	1,579	1,121
営業外費用合計	58,313	96,328
経常利益	192,705	101,388
特別損失		
固定資産除却損	4,293	—
減損損失	37,854	—
特別損失合計	42,147	—
税金等調整前四半期純利益	150,558	101,388
法人税、住民税及び事業税	44,201	38,733
法人税等調整額	—	△22,890
法人税等合計	44,201	15,843
四半期純利益	106,356	85,545
親会社株主に帰属する四半期純利益	106,356	85,545

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	106,356	85,545
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△6,274	4,014
その他の包括利益合計	△6,274	4,014
四半期包括利益	100,082	89,560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100,082	89,560

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当社は、第1四半期連結会計期間より一部の有形固定資産の耐用年数を3年から5年に変更しています。この変更は、主に本社オフィスに係る建物及び構築物、工具、器具及び備品について、オフィス及び当該資産の利用実績を勘案し、より実態に即した耐用年数に変更するものです。

この結果、従来の耐用年数による場合と比較し、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ20,344千円増加しています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Sansan事業	Eight事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,848,779	251,810	3,100,589	—	3,100,589
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—
計	2,848,779	251,810	3,100,589	—	3,100,589
セグメント利益または損失(△)	1,264,121	△239,146	1,024,975	△776,049	248,926

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△776,049千円は、報告セグメントに配分していない全社費用の金額であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

Sansan事業、Eight事業及び報告セグメントに帰属しない全社費用として、ソフトウェアについて帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失に計上しています。

なお、当該減損損失の計上額は、前第1四半期連結累計期間において、Sansan事業6,387千円、Eight事業9,648千円、報告セグメントに帰属しない全社費用21,818千円です。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Sansan事業	Eight事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,356,228	311,024	3,667,253	—	3,667,253
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—
計	3,356,228	311,024	3,667,253	—	3,667,253
セグメント利益または損失(△)	1,272,216	△191,715	1,080,501	△886,582	193,918

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△886,582千円は、報告セグメントに配分していない全社費用の金額であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「Eight事業」セグメントにおいて、ログミー株式会社の株式を取得し、連結子会社として連結の範囲に含めたことにより、のれんを計上しています。当第1四半期連結累計期間において、当該事象によるのれんの増加額は200,715千円です。